

編集・発行：社会福祉法人 五城目町社会福祉協議会
五城目町西磯ノ目一丁目6番地10 TEL.018 (852) 5192 FAX.018 (879) 8367



講師 佐藤 健太 氏



講師 ミスター北さん (北嶋一美氏)



研修会の様子

3月4日、五城館を会場に、ボランティア研修会を開催、26名が参加した。
身近な人の「いつもと違う」に気付いたときの声掛けを学び、ボランティアが身近にあることを再確認、地域のたすけあい・ささえあいをみんなが担い手となり、もう一度考える機会となった。
第一部に、ゲートキーパー養成講座として、講師に秋田ふきのとう県民運動実行委員会臨床心理士佐藤健太氏が「心ははれればゲートキーパー」と題して、養成講座を行い、参加者は身近な人が発するサインに「気づき」「声をかけ」「つなぐ」ことが大切であることを学んだ。

ボランティア研修会

第二部では、ミスター北さん(北嶋一美氏)が「笑いとボランティアで地域に元気を」と題して、マジックをしながら講話を行い、笑いの中にも示唆に富んだ内容に、会場は共感と笑いに包まれた。

2月28日、森山地区公民館を会場に、役職員研修会を開催、23名が参加した。五城目町の地域づくり、法人運営や事業展開の進め方、地域課題への対応について、新たな知識の習得と法人強化を図る機会となった。



講師 金子 治生 氏



役職員研修の様子

役職員研修会

頭の体操 ナンプレ

4	7			3	6		5	9
9		3	7		1	4		2
	6	1	5	4			7	
	2			6	3	8	9	
1		6	9		7	2		4
3	9			2			1	5
	1		4		2		8	
7		5		1		9		6
	3	2	6		5	7	4	

※解答は最後のページ

笑顔で寄り添う介護



お問合せは「担当伊藤」まで
☎ 018-852-5192

【訪問介護事業】
私たちは、高齢者や障がいがある方の自宅に伺い、食事の準備や買い物、掃除などの家事やおむつ交換、入浴の介助などを行います。
資格を持つ訪問介護スタッフがまごころ込めて対応いたします。

【居宅介護支援事業】
介護にお困りでは
ありませんか？
いつまでも、住み慣れた地域でその人らしく、生活できるように、ケアマネジャーがお手伝いをいたします。
【こんな悩みありませんか？】
○忘れ物が増えた
○家事ができない
○リハビリをやりたい
○お風呂に入りたい
○ベッドを借りたい
など、一人で悩まずぜひご相談ください！

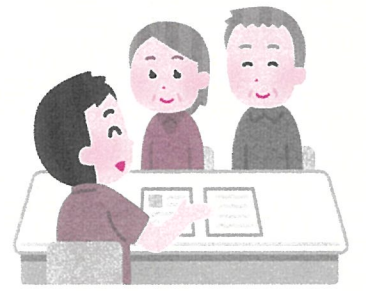
【訪問看護事業】
かかりつけ医と連携し、看護師が訪問してお手伝いいたします。
【こんな悩みありませんか？】
○物忘れが進んで心配
○床ずれがなかなか治らない
○薬の飲み忘れが気になる
○胃ろうやストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理が心配
○リハビリをして呼吸を楽にしたり、機能低下を防ぎたい
○気持ちが落ち込みやすく話を聞いてほしい
○自宅で最期を迎えたい



少し運動したほうが
いいのかな・・・



家にも手すりがあればなあ・・・



介護保険の手続きはどうすればいいの？

※経験豊富なケアマネジャーが、介護サービス計画作成等親身に相談対応します。
※どんなことでも、お気軽にお問合せください。

「五城目居宅介護支援事業所(五城目町社会福祉協議会)」へご相談ください。(利用者様の費用のご負担はありません。)

連絡先 ☎ 018-852-5182

※次の問題は、令和7年7月号予定

4	7	8	2	3	6	1	5	9
9	5	3	7	8	1	4	6	2
2	6	1	5	4	9	3	7	8
5	2	4	1	6	3	8	9	7
1	8	6	9	5	7	2	3	4
3	9	7	8	2	4	6	1	5
6	1	9	4	7	2	5	8	3
7	4	5	3	1	8	9	2	6
8	3	2	6	9	5	7	4	1

頭の体操 ナンプレ 解答

編集後記

●春の訪れと共に新年度が始まり、あつという間に清々しい初夏になるでしょう。今年度もアイデアを出し合い、心待ちにされるような社協だよりをお届けしたいと思っておりますので、よろしく願っています。
●社協だより「まごころ」第85号をお届けすることができました。これからも、みなさんのご意見をお待ちしております。

広報編集委員長 千田 常己

みんなの善意

※敬称は省略させていただきます

香典返し

- 1月22日 3万円
小野 均さん(浦横町)
(亡き父 孝司さん)
- 1月27日 3万円
渡部 明さん(御蔵町)
(亡き母 カツ子さん)
- 2月10日 3万円
館岡 均さん(上高崎)
(亡き父 鉄男さん)
- 2月21日 10万円
加藤 雄一さん(石崎)
(亡き母 悦子さん)

※皆様から寄せられた善意は、地域福祉活動に大切に役立てさせていただきます。



馬川地区の様子



五城目地区の様子



森山地区の様子



富津内地区の様子



馬場目地区の様子

2月21日から28日にかけて、福祉員活動の再確認と意見交換の機会として、全町7地区で福祉員会議を開催した。会議に参加した福祉員からは、「地域の住民にまずは福祉員を知ってもらうことが大事。もっと福祉員を広報してもらえれば活動もしやすくなる」などの活発な意見が寄せられた。

福祉員会議「福祉員の役割等を再確認」

●町内会の役員が福祉員をしており、全員男性。年に1回は社協と民生委員と福祉員の連携の機会を設けてほしい。

●空き家問題は深刻で、野生動物が入り込んでいるのも確認されている。

●社協の事業について、町民にもわかりやすく広報し、知ってもらうような努力が必要ではないか。

●町内会をどう維持していくか、福祉員も間もなく介護される立場になる。福祉員のなり手もいなくなっていくが、あくまで集落単位で維持していくのか、町も社協も真剣に考えてほしい。

●ダイサンスーパーがなくなったことが死活問題と感じている。遠くまで買い物に行き、タクシーで帰ってくる人もいる、大変な問題だ。

●周り3軒、みな一人暮らし。普段と違うと感じることがあれば様子を見に行く。留守をするときは、お互いに話していくようにしている。

●普段と違うことがあれば声をかけに行く。一人暮らしの方に「こうして見てくれる人があるから暮らしやすい」と言われ、うれしかった。

意見交換の内容



年々、体力の衰えを感じ除雪するのが大変です



猫に癒されているので寂しくないです



足が痛いので歩くのが大変 転ばないように気を付けている



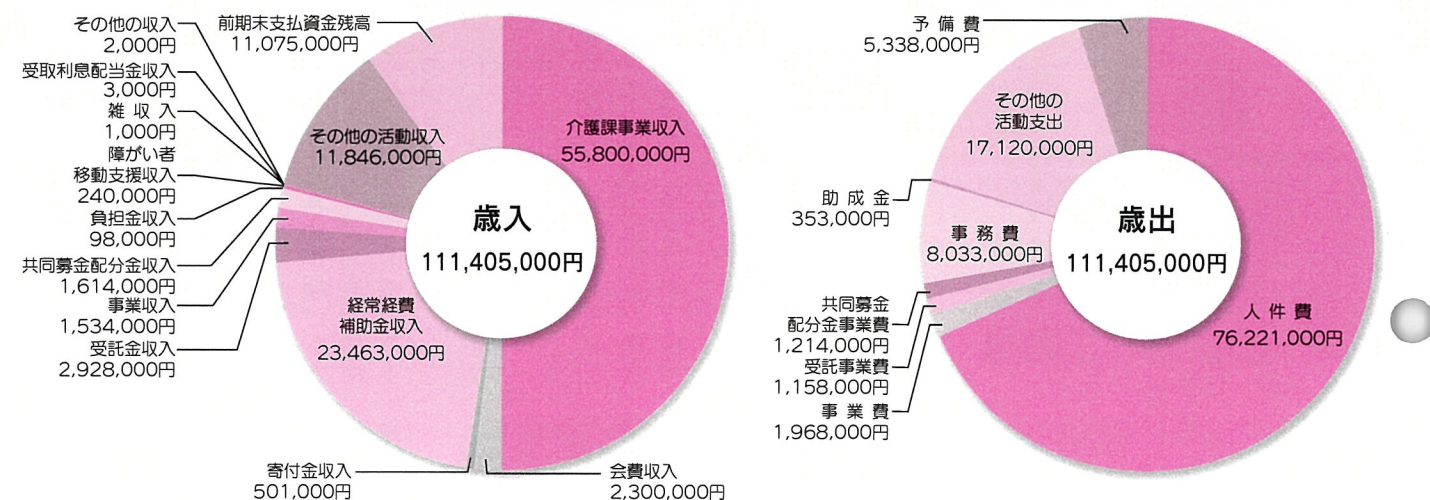
93歳になりました 食べることが大好きです

75歳以上ひとり暮らし高齢者訪問事業

在宅で生活している75歳以上ひとり暮らし高齢者378人に、3月1日から29日の期間で、職員が自宅訪問し、本会の紹介チラシや特殊詐欺の防犯シールを張った箱ティッシュを届けながら声をかけた。訪問時に「年々、体力の衰えを感じ、除雪するのが大変になっていく。男性一人、料理が苦手な給食弁当に助けられています。日中に、知らない訪問者が来るので、玄関に鍵をかけて、訪問者がいなくなったから、近所の一人暮らしの方や友達に電話で教えてあげている。」など、それぞれの近況などをお伺いしながら、福祉マップを更新し、地域の状況を把握することができた。

令和7年度 主な事業と予算

予算総額 111,405,000円



基本方針1 福祉のまちづくりに向けた協働活動の強化

- ①地域支え合い仕組みづくり事業
- ②除雪機、物品、送迎車両貸し出し
- ③福祉員の活動強化
- ④福祉関係団体の育成
- ⑤小地域ネットワーク
- ⑥社会福祉の大会
- ⑦社会福祉功労者表彰
- ⑧学校福祉教育推進事業
- ⑨ボランティアの養成、活動支援
- ⑩災害ボランティアセンターの運営
- ⑪赤十字防災事業への協力

基本方針2 福祉サービスの推進と相談支援体制の強化

- ①ひとり暮らし高齢者訪問事業
- ②ミニデイサービス
- ③寝たきり老人等おむつ費用助成
- ④給食サービス
- ⑤ふれあいサロン
- ⑥屋内ゲートボール場の管理運営
- ⑦居宅介護支援事業
- ⑧訪問介護事業
- ⑨障害者総合支援事業
- ⑩輸送サービス事業
- ⑪障がい者移動支援事業
- ⑫訪問看護事業
- ⑬生活福祉資金貸付事業
- ⑭たすけあい資金貸付事業
- ⑮相談体制の整備
 - ※福祉サービスの苦情対策
 - ※健康相談
 - ※総合相談体制整備(心配ごと相談所)
- ⑯日常生活自立支援事業
- ⑰成年後見制度利用促進
- ⑱子育て支援生活援助事業

基本方針3 経営基盤・組織の強化

- ①社会福祉基金の運用管理
- ②共同募金委員会への協力
- ③赤十字事業への協力
- ④職員研修の積極的な受講
- ⑤役職員研修会の実施
- ⑥避難訓練・救急救命講習
- ⑦広報発行・ホームページの運用